

金属は、原初より地球に存在し、人間の生活を支え、体に必要なものを提供してくれています。中には、有害になる場合があります、治療も必要となります。

金属は、人が意のままに加工することができ、利便性に富んでいる為、生活の場にあふれています。う歯の治療や外科系の手術でも多くの合金が使われています。少量・適量なら有用なものでも、多いと害をなすことがあります。

金属と病気の関係では、蓄積によるものと、アレルギーによるものがあります。蓄積によるものでは、カドミウムによるイタイイタイ病、チツソの有機水銀による水俣病、鉛による知能障害、貧血、疝痛などがありました。2000年に米国で、ある種の自閉症が、ワクチンに添加されている水銀（チメロサル）により引き起こされているとの指摘があり、妊婦、子供のワクチンから、水銀が除かれるようになりました。

私共も、言葉の遅れ等の発達障害、自閉傾向の子供たちを調べてみると、前頭葉に水銀、ニッケル、クロム、パラジウムなどが蓄積している場合があります。母親の体内に蓄積している金属は、胎盤や母乳を通して子供に移行します。また、ガンの発症部位には水銀等の重金属が蓄積していることも指摘されています。

このような場合は、金属のデトックス（排泄と解毒）を行うと効果が見られます。運動し発汗すること、キレート剤（コリアンダーリーフや中国パセリ（錠剤））を服用することが有効です。

アレルギーによるものは、成人に多く、微量のイオン化された金属に、体内の蛋白質が結合し、アレルギーをおこすようになります。口内炎や舌炎、味覚障害、皮膚炎、掌蹠膿疱症、関節痛、頭痛などが出現します。ピアス、ネックレス、歯の治療、手術等がきっかけになる場合が多いです。手術の縫合に使用するチタンにアレルギーを起こし、全身蕁麻疹が出現し、再手術して取り除いたり、強い薬で症状を抑えている人もいます。

診断には、パッチテストや血液検査（リンパ球幼若化試験）などがあります。

治療は、症状が出なくなるまで、原因金属を取り除くことです。

歯の合金の場合は、歯科医と相談し、安全なものを取り替えてもらいます。歯の合金でアレルギーを起こし全身に湿疹が出ていた方は、金に変えて良くなったのですが、4～5年後、金アレルギーをおこし、再度取り替えねばなりませんでした。

水銀の場合、歯にアマルガムがあれば、取り除いてもらい、魚介類（マグロ、キンメダイなど）にも注意します。インフルエンザワクチンは、水銀無添加のものを選びましょう。

ニッケルやクロムの場合は、鍋や包丁、食器類をステンレスからセラミックや鉄、ガラス、ホーロー、竹、木、陶器などに替えます。

鉛の場合、古い水道管（引き込み管にまだ多く使用されている）ならば、金属を取り除く浄水器が必要でしょう。輸入おもちゃの色付けなどにも注意します。

チタンは、UVクリームや化粧品、薬の錠剤やカプセルに添加されているため、気付かずに多く取り込んでいます。その為でしょうか、安全性が高いはずのチタンのアレルギーが最近増えているのです。酸性、アルカリ性のものは、どちらもそれぞれに金属を溶かす性質があり、注意して使う必要があります。

金属アレルギーが発症する時は、重金属を多く取り込んだり、接触したり、免疫力が低下する他の何らかの要因がありますので、生活全般を見直すことも大切ではないかと思えます。